

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：総務地域連携交通常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・所管事項調査では、次期「三重県過疎地域持続的発展計画」（中間案）に関して、人口動態のみならず、過疎化が進む地域の特性に着目して調査を行い、執行部に対して意見を申し入れられた点が良かった。

○年間活動計画について

・重点調査項目

・県内外調査

- ・県外調査では、重点調査項目に沿って他県の先進的な取組について調査を行い、DXやスポーツ、地籍調査の推進等に関して、さまざまな気づきを得られた点が良かった。

○その他

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：政策企画雇用経済観光常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

○年間活動計画について

・重点調査項目

本年度の重点調査項目について、委員会として所管する政策課題が多い中、委員間で協議を行い、「人口減少対策」や「大規模イベント等を契機とした観光振興」など、重要なテーマを絞り込み、選定できた。

・県内外調査

観光施策では、次期式年遷宮を契機としたインバウンド誘客について、伊勢志摩観光コンベンション機構（伊勢市）などで調査を行い、また、産業振興では、半導体関連の人材育成施設について、いわて半導体関連人材育成センター（岩手県）や半導体・デジタル未来創造センター（三重大学）を調査するなど、充実した県内外調査が実施できた。

○その他

大阪・関西万博開催を契機として、三重県への関心は高まったと感じているが、本県へのインバウンド誘客などについて、今後しっかりと調査していく必要がある。

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：環境生活農林水産常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

○年間活動計画について

- ・年間活動計画を作成する際、特に執行部が新規の条例案、計画等を検討している場合は、執行部と適切に情報を共有し、重点調査項目に設定するなど委員会として適切な検討をしていきたい。

・重点調査項目

・県内外調査

- ・県内外調査において、行政や事業者等を訪問し、重点調査項目の内容についての的確に調査することができた。

○その他

- ・県政レポートの調査方法について、主担当部局以外の施策についても関係部局から説明が受けられるようになるなど今年度より変更されたが、主担当部局以外の施策についてどこまで調査できるかがわかりづらかった。

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：医療保健子ども福祉病院常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・ コロナ後も病院における面会制限が続いていることについて問題提起する視点で重点調査項目に掲げて委員会において調査できていることは有意義である。

○年間活動計画について

《重点調査項目》

- ・ 各委員の関心事項も含めて、中身のある項目を設定できており、重点調査項目に沿った調査を実施することができた。

《県内外調査》

以下のとおり、重点調査項目に直結する内容について現場を訪問して声を聴き、三重県として参考にして、議会活動に反映することができる調査ができた。

- ・ いなべ市において、妊産婦に寄り添った産後ケアの取組など、「みえ子ども子育て応援総合補助金」の活用の好事例として、地域で子どもを産み育てるための対応を現場で調査できたのは有意義であった。
- ・ こどもアドボカシーセンター浜松で、子どもの意見表明について専門的に取り組んでいる方の声を聴けたのは有意義であり、アドボケート養成活動等、三重県としても参考にできる取組を調査できた。
- ・ 静岡市立静岡病院における診療体制が非常に参考になった。
- ・ 静岡県における、東西に広い県における周産期医療体制整備に係る調査は、人口減少の影響により出産する施設が限られてくる中で、三重県においても参考にできる調査となった。

○その他

- ・ 重点調査項目とは異なるが、三重県認知症施策推進計画や三重県ギャンブル等依存症対策推進計画など、下半期は、各種計画策定に係る調査にも力を入れ、より良い成果を得られるように取り組みたい。

令和 7 年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：防災県土整備企業常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・委員有志で勉強会を実施するなど、委員間で課題の共有ができており、委員会審議の活性化に繋がっている。
- ・建設産業について、現場の声を聞きながら、活発な議論ができています。

○年間活動計画について

・重点調査項目

・県内外調査

- ・重点調査項目を中心に、時期にかなった調査ができ、委員会での議論に活かすことができています。今後も勉強した内容をしっかりと委員会での議論や県政に反映していきたい。
- ・県内調査では、南海トラフ地震対策に関連して、大紀町の防災対策の取組や、現道が津波の浸水想定区域となっている一般国道 422 号の北牟婁郡紀北町島原地内の区間において進められている（仮称）下地トンネル工事について調査し、切迫感のある調査ができた。
- ・県外調査では、福岡県の株式会社クボタ九州支社において、水道管路の更新計画策定支援や A I 技術を活用した水道管路老朽度診断といった、最先端の研究を調査することができ、良かった。

○その他

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：教育警察常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・委員間討議の機会が十分に確保され、委員間でしっかり意思疎通、連携できている。

○年間活動計画について

・重点調査項目

- ・重点調査項目に掲げた5項目はいずれも喫緊の課題であり、充実した内容となっている。
- ・委員会では重点調査項目に沿って議論できている。

・県内外調査

- ・定められた日程を有効に使ってしっかり調査することができた。
- ・調査した内容を来年度予算にいかに関反映していくかについては、今後の我々の努力、議論が必要である。

○その他

令和7年度 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：予算決算常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・県政レポートの調査方法を見直し、今年度から、行政部門別常任委員会において、主担当部局に係る施策だけでなく、主担当部局以外の施策についても、関連するK P I 評価・基本事業は、執行部から説明を受けることができるようになり、県政レポートの調査に係る議論がより活性化された。
- ・県政レポートに関して、各行政部門別常任委員会での意見を受け止めたうえで、「県内産業の持続的な発展」等について、知事へ申入れを行うことができたことは良かった。

○年間活動計画について

・重点調査項目

- ・該当なし

・県内外調査

- ・これから県外調査が予定されているため、しっかりと調査をしたい。

○その他